

第4章 計画の推進と評価

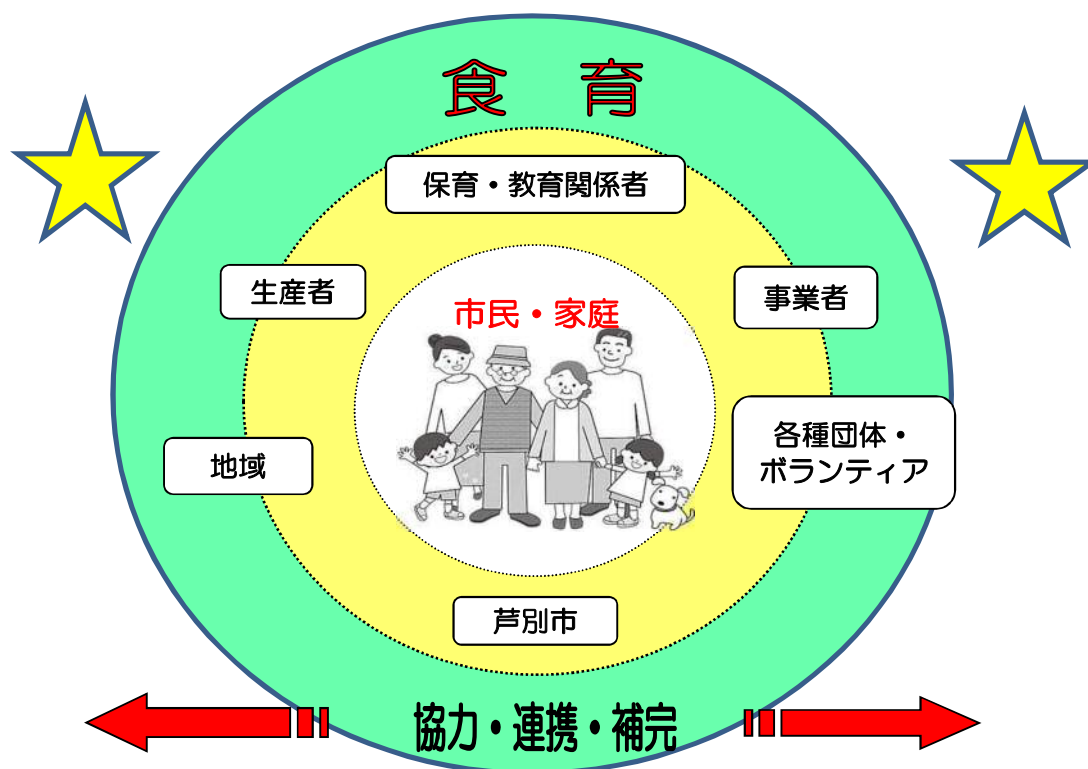
1 推進体制と評価

(1) 推進体制

国は、食育に関して、地域の特性を配慮し、様々な団体などの参加による「国民運動」として推進していくこととしています。

本市の食育についても、家庭を中心に、保育所、幼稚園、学校、地域、生産者、事業者、行政などのそれぞれの自発的意思を尊重したうえで、互いに協力・補完しながら「市民運動」として推進し、総合的に共通する重点目標を達成することを目指します。

このため、食育に関係する所管で組織する食育推進計画庁内検討委員会と、学識経験者、関係団体、市民で構成する食育推進会議において、食育計画に関する取り組みや課題などについて意見交換しながら、食育を推進していきます。



(2) 評価

計画では基本施策に関する目標値を設定し、平成33年度に「食育に関するアンケート調査」を行い、平成34年度にどの程度目標を達成できたかなど客観的に評価するとともに、食育推進計画庁内検討委員会及び芦別市食育推進会議において審議し、次期計画の策定に向けた検討をします。

2 食育推進の目標

基本理念の実現に向けた基本施策の成果や達成度を客観的な指標により把握するため、主要な項目について目標値を設定します。

目標値は、目標値の達成のみを追求することなく、施策の効果を総合的に評価するものです。

指標	現状値	目標値		
朝食を食べる人の増加	乳幼児	97.5%	100%に近づける ※国の目標値（100%）に準じる	
	小学生	98.0%		
	中学生	94.1%		
	高校生	82.6%		
	小・中保護者	89.8%		
	高齢者	95.2%		
いろいろな食品をバランスよく食べる人の増加	乳幼児保護者	65.0%	80%以上 ※現状数値を考慮し増加を目指す	
	小学生	77.0%		
	中学生	76.7%		
	高校生	73.9%		
	小・中保護者	72.3%		
	高齢者	78.5%		
朝食や夕食を家族などと一緒に食べる人の増加	朝食	乳幼児	96.1%	80%以上 ※現状数値を考慮し概ね10%増を目指す
		小学生	81.0%	
		中学生	66.3%	
		高校生	54.0%	
		小・中保護者	77.0%	
		高齢者	65.7%	
	夕食	乳幼児	97.0%	95%以上 ※現状数値を考慮し増加を目指す
		小学生	95.0%	
		中学生	74.4%	
		高校生	82.7%	
		小・中保護者	92.6%	
		高齢者	66.3%	
地場産品や特産品を食べる人の増加	乳幼児保護者	77.9%	90%以上 ※現状数値を考慮し増加を目指す	
	小学生	85.0%		
	中学生	84.8%		
	高校生	65.2%		
	小・中保護者	81.2%		
	高齢者	89.0%		
食品ロス削減のために食べ物を残さない人の増加	乳幼児保護者	89.2%	90%以上 ※現状数値を考慮し増加を目指す	
	小学生	77.0%		
	中学生	84.9%		
	高校生	74.8%		
	小・中保護者	88.5%		
	高齢者	92.0%		

※ 現状値：平成28年度食育に関するアンケート結果